

北海道室蘭市立白蘭小学校 学校便り

# 白蘭

令和2年10月22日 10月号② No14



ホームページは、「白蘭小学校」で検索するとすぐ見つかります。

## 【学校教育目標】

- ・深く学ぶ子
- ・心豊かな子
- ・健康な子
- ・未来をつくる子

# ランニング週間



先週と今週は、ランニング週間でした。中休みにグラウンドの指定された1週200mほどの2つのコースを割り当たった2つの学年がそれぞれ走りました。

中休み開始とともにグラウンドに出た子ども達は一斉にスタート。自分のペースでコースを周回します。

低学年は、何週走ったかわかるように担任の先生が手に印をつけました。

さわやかな秋空のもと体力づくりに一生懸命励む子ども達でした。



## 家読週間・・・家読の勧め

読書には、様々な効果があるといわれています。皆さんもご存知のとおり、集中力がつく、想像力が豊かになる、ものの見方・考え方の視野が広がる、漢字が読めるようになる、知識が豊富になる、言語力や表現力が身につく・・・など。そのようなたくさんの良さがある読書を子ども達のよりよい成長のためのツールとして大いに活用したいものです。本校の子ども達は、全校朝読書、ボランティアによる読み聞かせなど本に親しむ機会を設けているため本好きの子が多いです。でも他にもやることが多い日常では、計画的に読書の時間をつくらないと本から離れていってしまいますね。学校では、9月下旬に図書委員会が読書カードの取り組みを行いました。そして、10月27日からは「家読週間」を2週間設定しています。この「家読週間」では、お子様への声かけとともに、是非ご家庭で読書の時間を作り、家族で読んだ本について感想を話し合うなど、本に親しむ機会にさせていただければと思います。「本を読んで新しいことがわかった」「わくわく、どきどきした」「感動した」そんな感想がもてたなら、より本が好きになり、家読週間が終わっても自ずと本に手が伸びることが期待できそうです。

家読週間のご協力をよろしくお願いいたします。

## 今年の学芸会について

今年は12月19日に学芸会を行います。例年の2か月遅れの開催となります。運動会同様、様々なコロナ対策を施した上で以下のような形で行う予定です。

- ①観覧人数の制限・・・各家庭2名まで
- ②観覧方法・・・各学年の発表終了後に保護者の入れ替え
- ③発表内容・・・主に器楽合奏、合唱、ダンスなど

詳しくは、近くなりましたら改めてお知らせします。

保護者の皆様には、ご不便をおかけしますが、ご理解のほどお願いいたします。

## マウスシールドの活用

学芸会では合唱の発表があるため、飛沫感染のリスクが高くなることが考えられます。その対策としてマウスシールドを児童全員分購入し、練習や本番で活用します。本番の合唱の時は、マウスシールドをした状態での発表となる予定です。

普段は、マスク装着が基本ですが、国語の音読や発表形式の学習などでの活用も検討中です。

不衛生にならないように使った後は汚れのふき取りや消毒などを各自でしっかりさせて、ジップロックに入れて教室に保管します。

今後、インフルエンザ流行の懸念もあり、飛沫を防止することよりその流行も阻止できればと願っています。

# ウポポイ見学 4年生



ウポポイ

民族共生象徴空間

4年生は、白老に今年完成した「ウポポイ」の見学に行きました。広く真新しい施設のブースや映像、施設の人のお話などを見聞きし、北海道の歴史、アイヌの人たちの暮らしなどしっかりメモを取りながらたくさん学ぶことができました。「楽しかった」「また行きたい」「もう少しじっくり見たかった」という声が聞かれ、有意義な時間になったようです。



北海道はアイヌの人々とかかわりが深い土地であり、地名には、アイヌの人々の言葉が語源となっているものが多いですね。アイヌの人々は自然界のすべてのものに心があるという考えで自然を大切にしてきました。科学が進歩する現代において、自然との共生は、これからの人類の課題かもしれません。それを担う未来の子ども達に期待です。

# 高齢者疑似体験 5年生

5年生は、総合的な学習の時間「想合」で福祉に関する学習をしています。今年も「室蘭市ボランティアアドバイザーの会」の皆さんを講師にお招きし、足におもりをつけて歩きにくい状態や物が見えにくいゴーグルをつけるなど全員が高齢者の日常の不自由さを体験しました。



自分たちが高齢者の方に何ができるか、どんな関わりが必要かを体験した子ども達、その大変さを知るだけでなく、相手の身になって考えることの大切さも学んでくれたと思います。今後、お年寄りに限らず障害のある人や立場の弱い人とかかわりの際に生かしてほしいと思います。



# パン屋さん探検 2年生



2年生は生活科の学習で「パンづくりのひみつ」を探りに近所のパン屋『ベーカリーあけぼの』に行きました。

パンを作っている様子を実際に見せていただき、子ども達は、なじみのあるパンがどうやってできるのか興味津々でした。全員が事前に用意していた質問をお店の人にして疑問を解決しました。やさしく丁寧に教えてくださったお店の人への感謝を伝えながら、有意義な学習となりました。

帰りには、一人一人にクロワッサンのプレゼントがあり、大喜びで持ち帰りました。

お忙しい中、ご配慮いただいた『あけぼの』の皆さんありがとうございました。

# 方位磁針贈呈

日本教育公務員弘済会の事業の一つである理科教育の振興を目的とした「スクールアシスタパック」に応募したところ、希望していた「方位磁針」をいただけることになり先日贈呈されました。有効に活用させていただきます。

